

平成29年度入学試験問題（前期日程）

小論文

法文学部 人間科学科

地理歴史人類学専攻

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、150分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

「エネルギー革命」以後の技術革新は、生活にどのような影響を与えたのか。次の資料をふまえて、地域・歴史・文化という視点から、あなたの考えを、1000字以上、1200字以内で論じなさい。なお、地域・歴史・文化という視点は、一つでも複数でもよい。

資料

非公開

非公開

非公開

(出題者注)

コールドチェーン：生鮮食品を冷凍、冷蔵、低温の状態です生産地から消費地に届けるためのシステム

(野堀正雄, 「エネルギー革命と食生活」, 岩井宏實編『民具の世相史』所収, 河出書房新社, 1994年, 152~160ページ, 抜粋・一部改変)

平成29年度入学試験問題（前期日程）

小論文

法文学部 人間科学科

地理歴史人類学専攻

出題の意図

人間科学科地理歴史人類学専攻では、地域や歴史、文化に高い関心を持ち、解決すべき課題を自ら発見するとともに、実証的アプローチに基づいた論理的思考によって課題を解決することのできる人物を求めている。本専攻課程が「求める人材像（アドミッションポリシー）」で明らかにしている諸能力のうち、特に、理解力、考察力、論理的思考力、記述力等を小論文によって総合的に判断する。

この資料は、昭和30～40年代の「エネルギー革命」以後に生じた生活上の変化を具体的な事例を通して検証した文化論的考察の一部である。解答者には、本文の主旨をふまえたうえで、技術革新が生活に与えた影響について、地域・歴史・文化という視点から論理的に表現する能力が求められる。